



技術史教育

第137号

2024.1.31

Education for History of Technology

第137号 目次

- 日本技術史教育学会2023年度全国大会(福岡・小倉)開催報告……………高峰(1)
日本技術史教育学会2023年度全国大会(福岡・小倉)見学会報告……………武長玄次郎(2)
日本技術史教育学会関西支部2023年度総会・研究発表講演会案内……………南正晴(3)
功績賞・業績賞候補募集・2024年度総会研究発表講演会開催に関して・編集後記……………(4)

【全国大会報告】

日本技術史教育学会 2023年度全国大会(福岡・小倉)開催報告

2023全国大会実行委員会

実行委員長 高 峰 (西日本工大)

日本技術史教育学会の2023年度全国大会・研究発表講演会は、2023年12月9日(土)と10日(日)に西日本工業大学の小倉キャンパスにある大学院・地域連携センターで開催されました。会場は小倉駅から1駅の西小倉駅から徒歩で約3-4分の距離にあり、新幹線や北九州空港からのアクセスも便利です。

コロナ禍の影響で、ほとんどの学会がオンライン発表に移行していましたが、今回の開催は3年ぶりに完全な対面形式となりました。学会は通常の形態に戻り、通常の学会発表以外にも特別講演、学生のポスター発表、懇親会、そして翌日の見学会など、多彩な内容で実施されました。

大会初日の参加者は、会員と学生のポスター発表者、そして特別講演に参加した一般市民(7名を含む)を合わせて計47名でした。懇親会には18名が参加し、翌日の見学者は19名でした。

一般講演は合計14件あり、技術史や技術遺産、産業遺産から技術教育や工学教育まで幅広い分野をカバーしており、最新の研究調査結果や提案が発表されました。参加者からは積極的な質問が寄せられ、従来の学会の活気が戻り、最新の研究成果や活発な議論、参加者同士の交流が盛り上がりました。特別講演では、「世界遺産『明治日本の産業革命遺産』の登録経緯と官営八幡製鐵所」および「ウォッシュレットの技術進化の歴史について」の2つの講演が行われ、これらは一般市民にも公開され、7名の方が会場に足を運びました。学会を通じて知識の普及が図られ、技術史および技術史の教育に関心を寄せる一般の方々も多く参加しました。学生の研究促進のために、今回の学会では学生によるポスターセッションが設置され、9件の発表が行われました。最優秀ポスター発表賞や最優秀ポスターデザイン賞なども授与され、これらの表彰は学生たちの今後の努力の励みとなります。

発表の日程終了後、会場の近くにある小倉リーセントホテルで懇親会が行われました。西日本工大の学長と副学長も出席し、様々な話題で深い交流ができました。また、西日本工大の沖縄県人会のメンバーからは、エイサー・沖縄舞踊が披露され、会場は一層盛り上がりました。

今回の全国大会は、実行委員会の皆様のご尽力により、計画通りに円滑に進行し、大いに成功を収めました。今後の運営においては、大会のWeb発信や参加費の銀行振り込みなどが活かされることでしょう。また、北九州観光コンベンション協会の助成に感謝申し上げます。



写真1. 学生ポスター発表の様子



写真2. 発表後の記念撮影



写真3. 懇親会に沖縄伝統舞踊の出演